

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和5年1月4日(2023.1.4)

【公開番号】特開2022-81242(P2022-81242A)

【公開日】令和4年5月31日(2022.5.31)

【年通号数】公開公報(特許)2022-096

【出願番号】特願2020-192669(P2020-192669)

【国際特許分類】

H 0 3 K 1 7 / 1 6 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

H 0 3 K 1 7 / 6 8 7 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

H 0 3 K 1 7 / 0 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

H 0 3 K 1 7 / 0 4 1 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

H 0 3 F 3 / 2 1 7 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

H 0 2 M 1 / 0 8 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

【 F I 】

H 0 3 K 1 7 / 1 6 H

H 0 3 K 1 7 / 6 8 7 A

H 0 3 K 1 7 / 0 4 E

H 0 3 K 1 7 / 0 4 1 2

H 0 3 F 3 / 2 1 7 1 3 0

H 0 2 M 1 / 0 8 Z

20

【手続補正書】

【提出日】令和4年12月21日(2022.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基板上に実装されたGa N - F E Tと、このGa N - F E Tのゲート電極にゲート抵抗を介して接続されたドライバ回路と、このドライバ回路に駆動電圧を与えるドライバ電源と、を含むスイッチングモジュールであって、

前記ドライバ回路は、複数のロジックIC回路が並列に接続された構成を有し、

前記ドライバ電源は、空芯コイルを有するコアレストランスを含むことを特徴とするスイッチングモジュール。

【請求項2】

前記ロジックIC回路は、T T L素子又はC M O S素子からなることを特徴とする請求項1に記載のスイッチングモジュール。

40

【請求項3】

基板上に実装されたGa N - F E Tと、このGa N - F E Tのゲート電極にゲート抵抗を介して接続されたドライバ回路と、このドライバ回路に駆動電圧を与えるドライバ電源と、を含むスイッチングモジュールであって、

前記ドライバ回路は、複数のロジックIC回路が並列に接続された構成を有し、

前記ドライバ電源は、発光素子と、前記発光素子からの光を変換する光電変換器と、を含むことを特徴とするスイッチングモジュール。

【請求項4】

前記発光素子と前記光電変換器とは、光ファイバで接続されていることを特徴とする請

50

求項 3 に記載のスイッチングモジュール。

【請求項 5】

前記ロジック I C 回路は、T T L 素子又は C M O S 素子からなることを特徴とする請求項 3 又は 4 に記載のスイッチングモジュール。

10

20

30

40

50